

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

コーポレートパーパス

人々の生活を豊かに。イノベーションをドライブし続ける。

変動費削減
2,500億円固定費削減
2,500億円人員削減
20,000人工場統合
17→10工場

② 中長期の経営戦略

1. コスト削減とエンジニアリング改善

TdC改革オフィスを設置。開発期間短縮プロセスを適用し3,000人の従業員を配置転換。部品種類70%削減、プラットフォーム数を13から7に削減。

3. 開発プロセスの刷新

R&D労務費単価20%削減を目指す。リードモデル開発37ヶ月、後続モデル30ヶ月へ短縮。

2. 生産再編と固定費削減

車両生産工場を2027年度までに17から10に統合。パワートレイン工場見直し。北九州LFPバッテリー新工場建設中止。

4. 商品戦略・市場戦略の再構築

HEARTBEATモデル中心の3カテゴリー構成。主要市場は米国、日本、中国、欧州、中東、メキシコ。パートナーシップで補完。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の悪化

- ・ グローバル市場の販売競争激化、為替変動、インフレの影響継続
- ・ 米国の関税政策不確実性、メキシコ輸入品25%関税懸念
- ・ 中国での新エネルギー車へのシフト加速と競争激化

② 当社固有の経営課題

- ・ 販売計画未達による固定費増加と変動費上昇
- ・ モデルミックス悪化、インセンティブ増加で収益圧迫
- ・ 電動車をタイムリーに提供できず顧客需要に対応不足

③ ガバナンス・法務上の課題

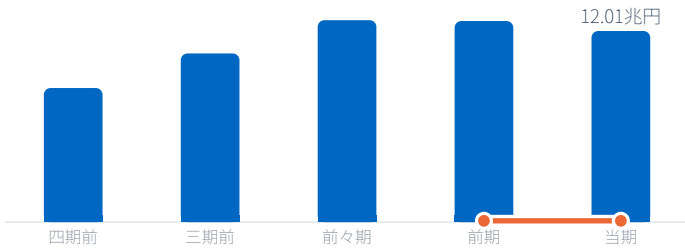
- ・ 元会長らの金融商品取引法違反で罰金2億円、課徴金22億2,489万5,000円納付済
- ・ 2019年指名委員会等設置会社へ移行、ガバナンス体制改善継続
- ・ オランダでの訴訟でゴーン氏に420万ユーロ返還命令確定

面接で使えるポイント

- ・ Re:Nissan計画で固定費・変動費計5,000億円削減を実現する具体的なコスト戦略
- ・ プラットフォーム数13から7への統合とモデルミックス改善による競争力強化
- ・ ルノー・三菱自動車・本田技研工業との戦略的パートナーシップによる事業展開

証券コード 7201

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
12.01兆円営業利益率
0.5%財務健康度
13点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 59.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
857万円

輸送用機器内 7位/82社

平均年齢
40.9歳

輸送用機器内 69位/83社

平均勤続
14.9年

輸送用機器内 67位/83社

女性管理職
11.3%

輸送用機器内 4位/72社

男性育休
75.5%

輸送用機器内 35位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日産自動車2026年5月度 生産・販売・輸出実績（速報）

